



NEWS RELEASE

2023年5月12日

お客様各位

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

温泉屋様の「SDGs宣言」のご支援について

栃木銀行（頭取 黒本 淳之介）は、お客様のSDGs経営への取組みをご支援するため「とちぎんSDGs宣言支援サービス」をご提供しています。

今般、温泉屋様が、本サービスをご利用いただき「SDGs宣言」を策定されましたのでお知らせいたします。

地域経済の担い手である事業者の皆さまにとってSDGs経営に取組むことは、将来の「ビジネスチャンス」と「ビジネスリスク」を認識し、事業継続性を高める有用な機会となります。

栃木銀行は、今後もお客様と共に、地域経済の持続性向上に取り組んでまいります。

記

1. 企業概要

企業名	温泉屋
所在	栃木県佐野市浅沼町 196-6
代表者名	代表 八木橋 博
事業内容	温泉販売

以上

温泉屋

SDGs宣言



当社は、「より温泉を身近なものに。温泉は入り行く時代から、温泉が来る時代に。温泉に入りにいけない方に安全で安心な温泉を届けたい。」をモットーに、SDGsに賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

2023年3月21日

温泉屋

代表 八木橋 博

■ SDGsの達成に向けた取組 ■

働きがい



社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

【具体的な取組】

- SDGsの歴史や意義、取り組み事例を参考に自己研鑽を実施
- 専門家を招いたセミナー研修等でモチベーション向上を推進
- 従業員の健康管理（ヒヤリハット、禁煙教室等）を実施
- 各種休暇を取得しやすい風土づくり



環境配慮型サービス・製品の提供



持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。

【具体的な取組】

- 源泉を有効利用し、必要な施設、ホテル等に供給
- 温泉発掘等の工事を省くことにより、環境に配慮したサービスを提供
- 省資源、廃棄物削減の取組みと実績の情報開示
- 従業員参加型の環境保全活動の実施



地産地消で栃木県の名湯をアピール



地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。

【具体的な取組】

- 那須地方の良質な名湯をアピールし、栃木県への観光に寄与
- 県外施設、ホテル等の利用によって、栃木県の魅力を再発掘
- 特産品でもある温泉を利用した企画イベントを実施
- （足湯、出張湯治、飲食施設との共同など）



リスク管理体制の整備



自社が環境・地域社会に与える影響について認識し、社会的リスクの低減活動に努めます。

【具体的な取組】

- 自然災害時に人命の安全、地域社会のインフラ復旧に貢献
(飲料水運搬、温泉水利用による健康面維持)
- 地域環境の調和、地域との融和を図り、持続可能な源泉利用の実現
- 環境配慮に関するP D C A（目標・実行・チェック・改善）の仕組みを構築



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。